

令和8年4月1日

保護者の皆様

おおさわ学園三鷹市立大沢台小学校

校長 田中 新一

## 熱中症事故の防止に向けた本校の対応について

日頃より本校の教育活動への御理解・御協力をいただき、誠にありがとうございます。

夏の暑さが本格的になってきます。本校では、以下のとおり「熱中症事故の防止に向けた対応」を図っています。保護者の皆様におかれましても、御理解・御協力のほどよろしく願いいたします。御質問・御不明な点がありましたら、下記担当まで御連絡ください。

- 1 各教育活動（体育、水泳、運動会の練習、休み時間等を含む）の実施に当たっては暑さ指数WBGTの数値を、実施前及び実施過程において定期的に測定し、下記基準に基づく対応を徹底します。

WBGT(°C)	対応	具体的対応
31°C以上	運動は原則中止	WBGT31°C以上では、特別の場合以外は、運動を中止します。
28°C以上	嚴重警戒	WBGT28°C以上では、熱中症の危険が高いため、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避けます。運動をする場合には、頻繁に休息をとり、水分や塩分の補給を行います。
25°C以上	警戒	WBGT25°C以上では、熱中症の危険が増すので、積極的に休息をとり、適宜、水分や塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休息をします。
21°C以上	注意	WBGT 21°C以上では、熱中症による死亡事故が発生する可能性があります。熱中症の兆候に注意をするとともに、運動の合間に積極的に水分や塩分を補給します。

- 2 校内放送等を活用し、水分補給や休憩を励行するとともに、校内に経口補水液を常備します。塩分補給の一つとして、スポーツドリンクの持参（持参する場合は、水筒に入れてください。）も可能です。

（裏面に続きます）

- 3 特に運動時、その前後も含めてこまめに水分を補給し休憩をとるように指導します。(運動時以外も、暑い日はこまめに水分摂取・休憩に気を付けるようにします。)
- 4 児童のマスク着用にあたっては熱中症事故の防止に留意します。
- 5 運動等を行った後は十分にクールダウンするなど、体調を整えたうえでその後の活動(登下校を含む)を行うよう指導します。
- 6 体調が悪い場合は、すぐに教職員に相談するように指導します。
- 7 体調が悪い児童の対応は、保健室をはじめ、空調のある室内での学習を基本とし、熱中症が疑われる場合は、早期段階で病院との連携を行います。救急搬送も躊躇なく判断します。
- 8 炎天下で気温の高い時間に児童が登下校する場合は、こまめに水分補給を行うように指導を徹底します。また、必要に応じて一緒に登下校していただくことも可能です。
- 9 児童の一人ひとりの心身の発育・発達や体力・技能等に応じた活動計画を立案するとともに、その計画に基づき適切に指導します。また、健康管理を適宜適切に行い、一人ひとりの状況に応じて、見学の仕方等を含め必要な対策を個別に講じます。
- 10 安全面から指導内容・方法の工夫に努めるとともに、これまでの活動やルールやきまり等についても改め、見直し、児童が適正・安全に活動できるよう指導を徹底します。
- 11 登下校中は、暑さをしのぐため帽子を必ず着用させてください。
- 12 登下校中に、暑さをしのいだり、体を冷却したりするために、日傘を差したり・首に冷却タオル等を巻いたりしても構いません。

【担当】

副校長 小坂橋 義夫  
連絡先 0422 32 2175